

三重県鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 概況

1 生産の動き

平成 18 年の県内鋳工業生産指数の年平均は、156.7（平成 12 年＝100）で（年指数については、原指数によります。以下同じ。）、対前年比 18.0%の上昇となりました。四半期ごとの推移についてみますと（四半期別指数については、季節調整済指数によります。以下同じ。）1 期 148.2（対前期比 5.0%増）、2 期 150.8（同 1.8%増）、3 期 159.1（同 5.5%増）、4 期 167.8（同 5.5%増）となりました（表 1、図 1）。

これを業種別に対前年比で見ますと、電子部品・デバイス工業 48.4%、非鉄金属工業 17.0%、プラスチック製品工業 14.6%、一般機械工業 6.8%、ゴム製品工業 6.3%、輸送機械工業 5.5%、窯業・土石製品工業 0.5%とそれぞれ上昇しました。一方、情報通信機械工業▲26.1%、金属製品工業▲13.7%、石油・石炭製品工業▲9.0%、鉄鋼業▲8.6%、化学工業▲4.8%、木材・木製品業▲4.8%、食料品工業▲4.7%、繊維工業▲4.1%、鋳業▲3.5%、パルプ・紙・紙加工品工業▲2.1%、家具工業▲2.1%、電気・機械工業▲0.3%とそれぞれ低下しました。（表 3）

また、財別に対前年比で見ますと、鋳工業用生産財 27.3%、耐久消費財 5.2%とそれぞれ上昇しました。一方、その他用生産財▲4.8%、非耐久消費財▲3.0%、建設財▲2.5%、資本財▲0.6%とそれぞれ低下しました。（表 4）

2 生産者製品在庫の動き

平成 18 年の県内鋳工業生産者製品在庫指数（以下「在庫指数」とします。）の年平均は、651.9（平成 12 年＝100）で、対前年比 64.3%の上昇となりました。四半期ごとの推移についてみますと、1 期 494.0（対前期比 15.8%増）、2 期 519.1（同 5.1%増）、3 期 657.6（同 26.7%増）、4 期 993.1（同 51.0%増）となりました。（表 2、図 1）

これを業種別に対前年比で見ますと、電気機械工業(旧分類)84.2%、プラスチック製品工業 24.2%、鋳業 18.3%、金属製品工業 17.9%、食料品工業 17.1%、木材・木製品工業 14.9%、一般機械工業 13.1%、ゴム製品工業 7.5%、石油・石炭製品工業 3.6%、繊維工業 2.6%、パルプ、紙、紙加工品工業 0.9%とそれぞれ上昇しました。一方、家具工業▲27.4%、輸送機械工業▲24.1%、非鉄金属工業▲15.4%、鉄網業▲9.1%、化学工業▲4.0%、窯業・土石製品工業▲1.0%とそれぞれ低下しました。（表 5）

また、財別に対前年比で見ますと、鋳工業用生産財が 76.4%、資本財 10.2%、建設材 4.1%、非耐久消費財 3.6%とそれぞれ上昇しました。一方、耐久消費財▲24.8%、その他用生産財▲7.4%とそれぞれ低下しました。（表 6）